

西河技術経営塾研究科前期 講義録 TA11

作成：瀧川 淳

日時：平成 29 年（2017 年） 11 月 13 日（月）午後 5 時 00 分 ～ 午後 5 時 50 分

場所：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）

講師：小平和一郎

研究生：瀧川 淳

講義名：(TA11) ¹「研究課題論文について仮説やフレームワークの議論」

講義内容

1. 概要

第 11 回目 (TA11) の講義 (研修) を行った。内容は以下の通り。

- ・「B 2 B、シーズ技術の事業化でのエンジニアリング・ブランドの構築過程」について、類型化のフレームワークを提案（コトラー4A、5A をヒントにして、4E を提案、ただし本講義録では研究発表前であるため詳細は割愛する）

- ・深掘りするフレームワークが固まってきたので、2018 年 1 月のエンジニアリング・ブランド研究会での発表を目標として、論文を書き始める

2. 小平からの要望とフィードバック

(1) 要望

今回の研究課題のメモとこれまでのやり取りから、問題意識とフレームワークは理解できたので、実際に論文を書き始めて欲しい。

(2) フィードバック

瀧川が実際に取り組むエヴィクサー「音響通信 Another Track」の事例では、ニュースリリースやアワードなどを取り込んだ B 2 B のプロモーションが非常にユニークなので、そこも上記類型化の具体的な事例として取り上げると、より興味深い内容となるのではないか。

研究発表のテーマや時期を明確にしていくことで、逆算して研究にスケジュール感を持って取り組むとよい。

3. 次回までの宿題（前回から同様の内容で継続）

(1) 第 17 章についてアジェンダの完成（担当講義回まで推敲）

(2) 上記研究課題について引き続き推敲（論文スタイル）

4. 次回日程

(1) 次回日程 11 月 27 日（月）午後 5 時から

(2) 参考資料

『戦略的ブランド・マネジメント 第 3 版』（2010 年）『戦略的ブランド・マネジメント』（2004 年）、ケビン・レーン ケラー著 東急エージェンシー

『コトラーのマーケティング 4.0 スマートフォン時代の究極法則』（朝日新聞出版、2017 年）

以上

¹（注）TA01：TA とは、Takigawa のこと。01 は、1 回目。第 2 回は、TA02 となる。